



實性

令和六年 第二号 春彼岸発行

春のお彼岸のご案内

お彼岸の由来

「暑さ寒さも彼岸まで」という通り、朝夕暖かさが感じられるようになってきました。春のお彼岸は、春分の日を中日とした前後三日間の計一週間をいいます。又、春のお彼岸を「花の彼岸」ともいいます。

「彼岸」というのは、「向こう側の岸」という意味です。「向こう側の岸」というのは、争いや差別のない平和な仏様の世界の言葉です。それに比べて、私たちの住んでいるこの世界には、戦争や災害、飢え死にする人などが絶えません。

それを「こちら側の岸」という意味で「此岸しがん」といいます。お釈迦様は、こちら側から向こう側の岸に行くには、どうしたら良いかということを示されました。

これを「六波羅蜜」といって、布施・持戒じけい・忍辱にんじやく・精進しんじん・禅定ぜんじやう・智慧ちえの六つを実践することであると。

- 一、布施 人を施す (喜んで与える)
- 一、持戒 戒律を守る (決まり事を守る)

- 一、忍辱 苦難に堪え忍ぶこと (辛いことも我慢する)
- 一、精進 修行に励む (どんな事も努力する)
- 一、禅定 心を静める (いつも心を静かに保つ)
- 一、智慧 真理を明らかに (考え深い人間になる)

普段私共は生活と仕事に忙しく、なかなか実践することは難しいと思います。

そこでせめて年二回、春と秋のお彼岸の一週間、己を顧みてはいかがでしょうか。そして、「今、私が生きているのは、ご先祖様がいらっしやるからこそ」と気づくと思います。ご先祖様に感謝し、幸を祈るお墓参りを致しましょう。

彼岸会法要

● 三月二十日 (水・祝日) お中日

午前十一時より

- お彼岸入り 三月十七日 (日)
- お彼岸中日 三月二十日 (水・祝日)
- お彼岸明け 三月二十三日 (土)



卒塔婆のお話し

ご法事、お彼岸、お盆そしてお施餓鬼会のおりに、「お塔婆」のご回向をさせていただいております。

お塔婆は、正式には「卒塔婆」といい、インドの言葉「スツーパー」の音写で漢字に当てはめると「卒塔婆」（お塔婆）になります。本来「卒塔婆」には、お釈迦様のお骨をお祭りしたのが起源です。塔を建てお釈迦様の御徳をたたえたものでした。

パコダ、五重塔、十三重の塔などで、インド、中国、日本各地の大寺院に建立されました。ミャンマーなどでは、遺跡のみではなく現在もパコダがたくさん作られております。この塔を建立するということは、ご先祖そして亡き人の為への供養としたものですが、これは、物質的に最大供養されるものでもありません。

私共は、五重の塔を建立できるはずもなく、この塔を建立するに代わるものが、石の五輪塔になり、木の角の塔になり、そして、現在の木の板となりました。板の塔婆は、五重の塔を建立するのと同じ功德があるのです。

お塔婆は、空・風・火・水・地の五つに刻まれております。

これを「五大」といい、私共が生きていくうえには絶対的に必要なものを表わしています。「南無阿弥陀仏」あるいは梵字で「**𑖀𑖳𑖫𑖞𑖻𑖅𑖄𑖳**」（空風化水地）と書かれています。その下にお戒名、ご先祖名が書かれご供養されます。そして、お戒名、ご先祖名というのが建立された方をお守りしてくださるというのが「お塔婆」です。また、「お塔婆」は、亡くなられた方への「お手紙」「極楽浄土への道標」とも言われております。

亡き人にお便りをするお気持ちで「卒塔婆」のご供養をしてみたいかがでしょうか。

尚、ご法事での「お塔婆」は、大の大きさのお施主様にとおすすめております。そして「子供一同」「友人一同」「孫一同」でと申し込まれますが、「お便り」「心情」「お願い」を表わすものですので個人名が望ましいと思われまます。



中国の仏塔



インドの仏塔



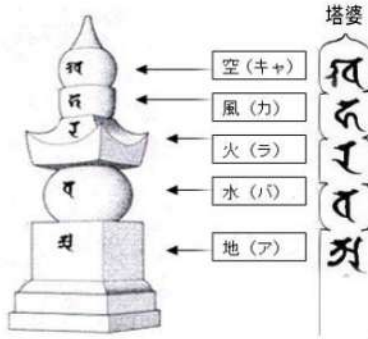
日本の五重の塔



石の五輪塔

南無阿弥陀佛
あゝ夜名

卒塔婆



石の五輪塔説明図

法然上人涅槃図

一月二十五日は宗祖法然上人の御命日です。各総本山では四月に忌日法要厳修されます。この法要を「御忌」(ぎよぎ)と読みます。法然上人のみに許された読みかたです。

左図の「法然上人涅槃図」は、法然上人の入滅の時が描かれています。大勢の弟子にかこまれ、合掌なされ、「南無阿弥陀仏」のお念仏を弟子と共に唱えられながら念仏往生なされました。



修正会報告

令和六年度「修正会」は、昨年度に続き、新型コロナウイルス（オミクロン株）の影響により、住職・副住職・寺族のみにて厳修致しました。

「御札」「お守り」「絵馬」等を祈願致しました。



850 years of the founding of the Jodo sect

浄土宗開宗八百五十年

法然上人が浄土宗を開かれたのは、平安時代も終わりの一一七五年。本年で開宗八五〇年を迎えます（二〇二四年）。

左のイラストは、法然上人のお姿をシルエットにした八五〇年のシンボルマーク。開宗八五〇年のキャッチコピー「お念佛からはじまる幸せ」の図案化募集し六〇一点の中から決定しました。

このキャッチコピーとシンボルマークを用いて浄土宗では様々な事業を企画しています。

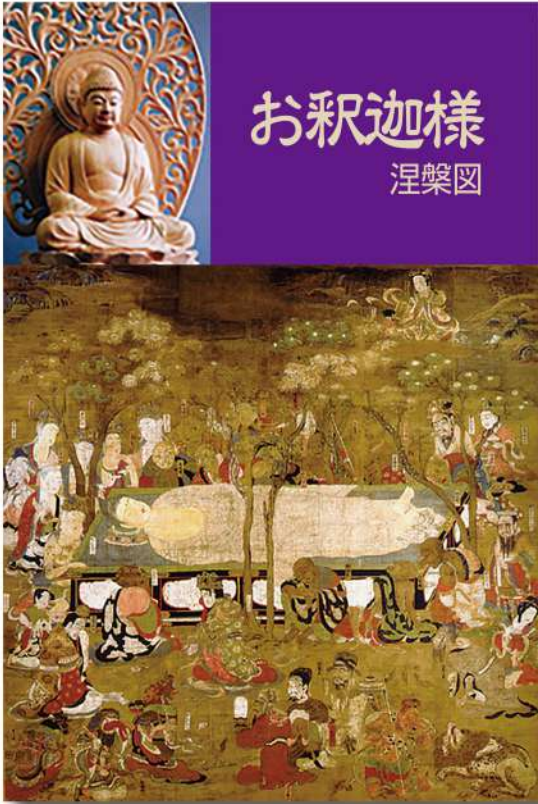


法然上人
浄土宗
開宗850年
お念佛からはじまる幸せ
令和6年

涅槃会

二月十五日は、お釈迦様の亡くなられたご命日です。左図の涅槃図は、お釈迦様の入滅のご様子が描かれています。

お釈迦様は、伝道の旅の途中、病にたおられ、自ら死期を悟られ、沐浴をされ、沙羅双樹の林の中に横たわれ、最後の説法をなされました。頭を北に、顔を西に向け、十代弟子、老若男女、鳥獣たちさえも嘆き悲しむ様子、また、忉利天より駆けつけられたお釈迦様の母君、マヤ夫人の姿も描かれています。



四月八日(土)は、お釈迦様がお生まれになられた誕生日です。「灌仏会」といいます。お釈迦様の誕生をお祝いし、誕生仏に甘茶をかけお祝い致しましょう。

お彼岸より本堂前(御拝)に花見堂が出ております。どうぞお参り下さい。

(お参りいただいた方に甘茶ティーパックを差し上げています)

四月八日は
お釈迦さまの
誕生日



節分会

二月三日節分に、毎年床の間に掛けます「掛け軸」をご紹介します。この画讃は、釜師 長野埜志師が描かれたものです。

恐ろしや
かぞえも
いかぬ
まめのかず



と讃があります。年の数だけ豆を食べるのは少々大変となりました。(笑)

今年も境内に紅白の梅が咲き始めました。これからの季節多くの花が咲きますのでお楽しみ下さい。



境内の



◆ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くとも十日前迄にお申し込み下さい。お電話よりファックスの方が正確です。ご利用下さい。

ファックス番号 03(3883)3227

振替口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出下さい。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七-十八
電話 03(3883)8866

浄土宗 實性寺

<http://www.jisyoji.com>

